



北方領土に幸せを！



『北方領土に幸せを！』宮崎県民会議

[はじめに]

「最後に、両国の今も続く北方領土問題を風化させないことが返還への一方となると考えます。それが大きくなればなるほど、強大で絶対的な返還への支えになります。私は、その希望を信じて、これからも北方領土について詳しく勉強し、多くの人に話をしていきたいと思います。そして、本当に忘れてはいけないのは、日本に領土が返還された時、島民として暮らしていたロシア人が元島民の日本人のような扱いを受けてはいけないということです」

この言葉は、「北方領土の日」に東京で開催された全国大会において若者の代表として北方領土への想いを語った本県の高校生が、根室市等で開催された現地研修会に参加した感想の一部です。

[北方領土の問題って？]

北海道の東に位置する北方領土（歯舞群島・色丹島・国後島・択捉島）は、わが国固有の領土にもかかわらず、昭和20年8月から70年以上もソ連（現・ロシア）に不法に占拠されました。

そこで暮らしていた日本人は強制的に撤去させられ、いまだに幸せは訪れていません。

[元島民の方々の幸せのために]

私たち日本人にとって、北方領土は「地続き」の問題であり、自分の故郷を強制的に奪われた島民の皆様方の様々な想いは、自分ごととして意識せざるをえない重要な問題です。

私たち『北方領土に幸せを！』宮崎県民会議（旧北方領土返還要求宮崎県民会議）は、昭和57年から官民一体となって、すべての宮崎県民の皆様方に、北方領土問題の重要性について気づいていただけるよう、パネル展や県民集会、キャラバン隊等の活動や根室市等への派遣事業をおこなっております。

元島民の方々の幸せに向けて、ぜひご理解とご協力を！！

